



世界中の母の日

皆さん、こんにちは！5月14日は母の日ですね。私は、母の日が近づくとお母さんに会いたくなるのですが、皆さんはどうでしょうか？実は、アメリカの母の日は日本の母の日ととてもよく似ています。他の国の母の日はどうでしょうか？今は世界中の「母の日」を紹介したいと思います。

まず初めに、母の日の由来を少し説明したいと思います。「母の日」は、1905年アメリカ人のアンナ・ジャービスの母親が亡くなった2年後、彼女が母親のために行った慰霊式がその始まりだと言われます。ジャービスが母親に感謝するために作った母の日が急速に広まり、1914年に母の日の記念日が5月の第2日曜日と定められ、全国規模の休日として認められました。また、母の日のプレゼントとして花をあげる習慣もジャービスが始めました。

1915年に、アメリカから伝わってきた母の日のお祝いが日本のキリスト教会で初めて行われたため、日本の母の日はアメリカの母の日にとっても似ています。また、イタリアやフィンランド等の国でも5月の第2日曜日が母の日です。

違う日に母の日をお祝いする国もあります。たとえば、韓国は「父の日」が5月8日で、父の日と母の日を一緒にお祝します。インドでは「母の日」が1日で終わる祝日ではなく、10月に行われる「ドゥルジャ・プジャ」という祭りになっています。「ドゥルジャ・プジャ」は、ユニバーサル・マザーと呼ばれる守り神である「ドゥルジャ」にちなんで名付けられた10日間の祭りです。アフリカのエチオピアでも、母に捧げる祭りを行います。秋の旬に、エチオピアの梅雨が終わる頃に「アントロシト」という祭りが開催されます！アントロシトという3日間の祭りでは、男子が狩った肉と女子が採り入れた野菜を家族で食べ、英雄の先祖の話を交わします。

皆さんは、今までの母の日をどのように過ごしましたか？アメリカや日本で生まれ育った方は、花、お菓子、カードをあげたり、お母さんと一緒に過ごしたりしたかもしれません。アメリカや日本の「母の日」はたった1日なのですが、母親に感謝する気持ちを伝えるチャンスはこの日以外にもあるので、毎日何かとお母さんに「ありがとう」という気持ちを伝えるように心掛けましょう！

Mother's Day throughout the World

Hello everyone! This year, Mother's Day falls on May 14th. Now, I don't know about you guys, but whenever Mother's Day starts to get close, I always start missing my mom! Mother's Day in America is not so different from Mother's Day in Japan... but what about other places around the world? This month, I would like to introduce to you some of the ways that Mother's Day is celebrated throughout the world.

First though, I'd like to tell you about the origins of Mother's Day. It is held that the first ever Mother's Day was celebrated in 1905 when American Ana Jarvis wanted to hold a ceremony in honor of her mother who she lost 2 years prior. Jarvis' Mother's Day quickly spread, and in 1914 the second Sunday in May was designated officially as the national holiday of Mother's Day in America. The tradition of giving flowers as a gift on Mother's Day also began with Jarvis.

In 1915, the first Japanese Mother's Day was celebrated in a church - Mother's Day had spread all the way from America to Japan! This is why Japan's Mother's Day is so similar to Americas, and why both are celebrated on the second Sunday of May. Actually, countries like Italy and Finland celebrate their Mother's Day on the second Sunday in May as well.

But there are also countries that celebrate Mother's Day on a different day. For example, South Korea's "Mother/Father's Day" is celebrated on May 8th each year, and encompasses both Mother's Day and Father's Day. In India, Mother's "Day" isn't actually just one day, but rather takes the form of the 10-day-long "Durga Puja Festival" celebrated in October. The festival gets its name from the goddess, Durga who is also known as the Universal Mother. In Africa, Ethiopia's Mother's Day also takes the form of a festival celebration. At the beginning of the fall season, when Ethiopia's rainy season comes to a close, the Antrosht Festival begins! During the 3-day-long festival, families enjoy a feast comprised of meat hunted by the men and vegetables harvested by the women over stories of family heroes.

So, how have all of you celebrated Mother's Day in the past? If you were born and raised in America and Japan, you've probably celebrated by giving your mom flowers, sweets and cards and spending the day with her. In Japan and America, Mother's Day is only one day, but that doesn't mean that you have to limit celebrating how great your mom is to just that one day! Let's do our best every day to expressing our feelings of gratitude for our moms!



ともし こうせい
友利 耕成ちゃん(0歳) 牧港在



いちもり
市森 ふあちゃん(0歳) 伊祖在



さく だ ゆめか
佐久田 夢花ちゃん(1歳) 屋富祖在

「てだっ子STUDIO」写真募集

●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月月末までに送付してください。窓口へ直接提出も可。集合写真は不可。
※被写体の子ども(ふり)の氏名(ふりがな)・年齢(0か月、1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)一言コメントの記入を忘れずに！

〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所 国際交流課
☎(876) 1234(内線2613・2614)
E-mail:kokusai@city.urasoe.lg.jp

ハイサイ こちら市長室！

「浦添新時代」

那覇から国道58号を北上すると、米軍基地キャンプ・キンザーと私たちを隔てるフェンスが左側に続く。そのキンザーも約8年後の2025年には返ってくることに計画はなっている。その計画に加えて、2013年12月に当時の仲井眞県知事は政府に対し、「キンザーの前倒し返還」について要望しており、2025年を待たずしてさらなる前倒し返還に向けて最大限協力すると政府から回答を得ている。終戦後、半ば強制的に取り上げられた私たちの大切な土地が70年以上も経過した今日、ようやく返還に向けて動き始めたのである。私が生まれた頃から存在する、ある意味見慣れた風景の一部でもあるあのフェンスがもうすぐ取り払われる時がやってくると思うと、夢のようである。

そのキンザーと西海岸の間には、海に沿って走る新たな道路「臨港道路」浦添線と沖縄西海岸道路「浦添北道路」が来々4月に開通予定となっており、那覇空港からコンベンションセンターまで58号を通らずに行くことができるようになる。開通後にその道路を北上する際には左側にイノー（珊瑚礁に囲まれた浅い海のこと）が広がる素晴らしい景色を見ることができるようになる。夕方、車に揺られて、その海に沈む素敵なサンセットも堪能することができよう。その残された自然のイノーの海をできるだけ埋めずに守りつつ、同時にその魅力を最大限に活用できる西海岸開発が行われなければならない。

この西海岸は、空港から近く、県都那覇市に隣接し、基幹道路58号とも接しており、また、自然のイノーが残され、美しい夕日を楽しむことができる。その素晴らしい立地である。さらに、後背地には起伏の緩やかな丘陵となっている広大なキンザー跡地が広がる。このキンザー跡地と西海岸開発予定地は、他に類を見ない程のポテンシャルの高い土地であり、浦添のみならず沖縄の、いや、日本の宝だとも言える。ワクワクせずにはいられない。だからこそ、私たち浦添市民はその宝物の存在とその価値について再認識したいと思う。

沖縄の未来は私たち浦添市民が握っている。そう思いませんか、皆さん。



問い合わせ
秘書課 ☎(876) 1234
(内線2563)



浦添市長
松本 哲治

文化課発信 うあむー ありんくりん 第26回

～ パイプライン通り ～

先日、市のふれあい出前講座で小学生向けに「パイプライン通りについて調べてみよう！」を実施しました。参加した子どもたちは、「なんでパイプラインっていうの？」と不思議そうな顔をして聞いていました。

パイプライン通りは1922（大正11）年に開通し、県民から「軽便（ケービン）」の愛称で親しまれた沖縄県営鉄道の名残です。沖縄戦を経て1952（昭和27）年には、米軍が線路跡を利用して那覇軍港から北谷までジェット機燃料を運ぶ送油管3本を敷設しました。パイプラインとはこの送油管施設を指す言葉だったのですが、送油管に沿って造られた管理用道路が一般利用され送油管が地下に埋められると、いつしか道路自体が「パイプライン」と呼ばれるようになりました。のちに返還され姿を消した送油管や巨大なバルブボックスは今や懐かしい風景となってしまいましたが、市民に長年親しまれた「パイプライン」の名称はこれからもずっと残っていくことでしょう。



▲大平付近の同じ場所：現在（左）とバルブボックスのある1970年ごろ（中）、パイプラインの由来となった送油管（1950年代か）（右）
出典：（右）「牧港字誌」 浦添市牧港自治会

問い合わせ 文化課 内線6211